

## 星空プロムナード

作花 一志 (京都情報大学院大学)

暑さも和らぎ星空に親しむころとなりました。これから年末までの主な天象です。

月 日	現象	備考
8月28日	満月	皆既月食
9月11日	新月	
9月23日	秋分	
9月25日	中秋の名月	
9月27日	満月	
9月30日	すばる食	22時ころ
10月11日	新月	
10月26日	満月	
11月8日	立冬	
11月10日	新月	
11月18日	しし座流星雨極大	
11月24日	満月 すばる食	18時ころ
12月10日	新月	
12月19日	火星最接近	0.589天文単位
12月22日	冬至	
12月24日	満月	

### 金星

春から日没後に西空でキラキラ光っていて、7月末までは日の入り後、西の低い空でいて、望遠鏡で見ると三ヶ月のように欠けているのが見られました。8月には太陽の手前にやって来て16日に内合、秋から年内ずっと「明けの明星」となります。9月23日には最大光度マイナス4.5等となります。

### 火星

8月末は明け方におうし座にいます。東へ移動中で10月末には夕方、東の空

に見えてくるでしょう。12月19日の最接近には地球からの距離は0.589天文単位、明るさはマイナス1.6等でふたご座で輝くのが見られます。

## 木星

ゆっくりとさそり座からいて座に移っていき11月までは日没後西南の空で輝いています。9月初にアンタレスと並んで輝いており、古代中国で「歳在大火」と言われた天象です。(図のマウスポインター)

## 土星

レグルスのそばで、7月1日の日没後に西空で金星と40分まで接近しましたが、あいにくの雨天でした。8月は太陽の背後にいるので見られませんが、9月以降は日の出前となり、10月中旬に金星と再会します。

## 月

### 皆既月食

8月28日の18:23にすでに半分以上欠けた月が昇って来ます。30分後には皆既となり20:22まで続き、21:23の復円までが東南の空で見られます。当日は第3回天体観望会を行いますので、ムーランルーージュをゆっくりとご鑑賞ください。

### 中秋の名月

旧暦8月15日の夕べで今年は9月25日です。この夜は満月ではなく月の東側がやや欠けているのを注目してください。

### すばる食

9月30日11月24日に、すばるの前を月が通過します。ただし月の光が眩し過ぎて、その様子を見るのは難しいでしょう。

